

ご参考資料

UNISYS

日本ユニシスグループ 事業概況資料

日本ユニシス株式会社

2014年4月末現在

日本ユニシスグループ

マーケティング&ビジネス開発&コンサルティング

- **日本ユニシス**
ビジネスおよびITサービス（コンサルティング、企画、開発、保守・運用を含む）のコーディネーター、提案および実施
- **日本ユニシス・エクセリュションズ**
3次元CAD/CAMシステム、住宅CADシステム、ビジネスソリューションの開発・サービスを提供
- **ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ**
企業家達の構想醸成からIT導入、改革の定着化まで広範なファシリテーション型コンサルティングを提供
- **エイファス**
金融機関の現場を知るプロフェッショナルによる、日本の金融業界に適したソリューションの提供

インフラトータルサービス

- **ユニアデックス**
ICT機器調達・運用・保守、設備設計・工事などを、ベンダーを問わず高い顧客満足度で提供。ユニエイト・コミュニケーション、グローバル対応などで実績を持つ、日本ユニシスグループのネットマークスと2014年3月1日合併統合
- **エス・アンド・アイ**
仮想的組織を基にコンサルティングから設計、構築、運用、保守に至るICT基盤ソリューションを提供
- **ネットマークス上海**
上海、広州、大連、天津を中心とした中国国内において、ICT基盤の設計・構築・運用、保守を総合的なサービスとして、主に日系企業向けに提供

システムサービス

- **USOL北海道**
- **USOL東北**
- **USOL東京**
- **USOL中部**
- **USOL関西**
- **USOL中国**
- **USOL九州**
- **USOLベトナム**
先進的なシステム開発力とビジネス理解により、最適なソリューションを提供
- **国際システム**
沖縄県内外において、最新IT技術とノウハウを活かして地域に密着したサービスを提供
- **G&Uシステムサービス**
大型のITフルアウトソーシングと、流通/製造分野のソリューション開発および適用のビジネスを展開
- **ユニエイト**
流通小売業向けシステム、クレジットシステムの開発・流通/製造小売業へのソリューション適用
- **北京億益天亞信息技术有限公司**
人工知能や最先端のアルゴリズム（計算方式）を活用した簡記速読システムや簡給システムを製造・流通企業に提供

アウトソーシング

- **エイタス**
情報システムのアウトソーシング・サービス全般を24時間・365日、高品質・高技術による高信頼性サービスを提供
- **トレードビジョン**
高品質物産を中心に、基幹業務のアウトソーシングを展開

グループサービス

- **日本ユニシス・ビジネス**
グループ各社共通業務（購買、物流）、社員向けサービス（福利厚生・保険等）およびBPOビジネスの実施
- **日本ユニシス・アカウンティング**
グループの経理専門企業として、グループ経営の高度化に貢献する
- **NULシステムサービス・コーポレーション**
米国等海外における先進技術・ビジネスのリサーチ、開発の発展、米商ユニシスに対するソフトウェアの販売

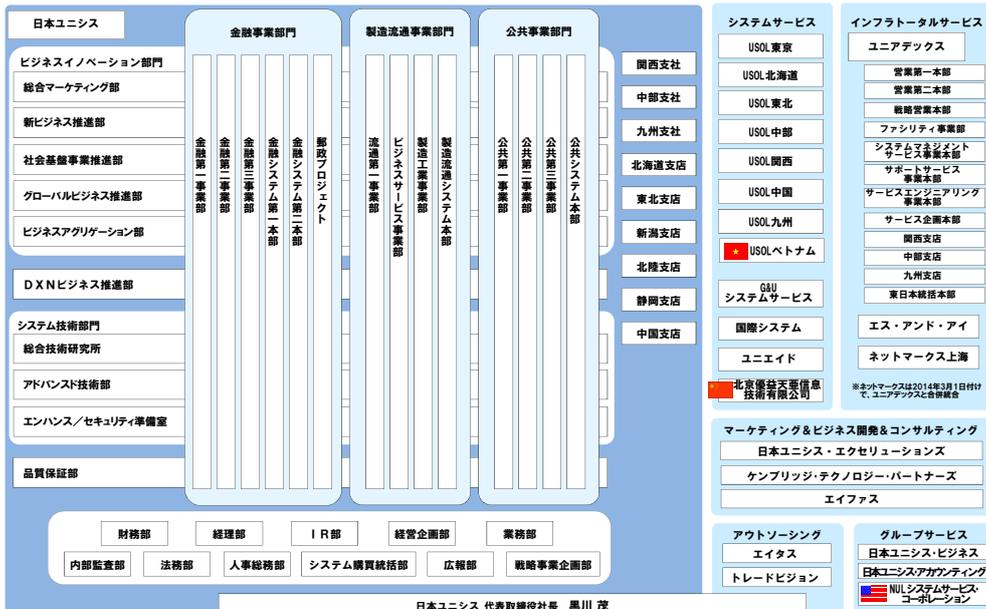


©2014 日本ユニシス株式会社

2014年4月1日現在

2014年度 日本ユニシスグループ体制図

お客様

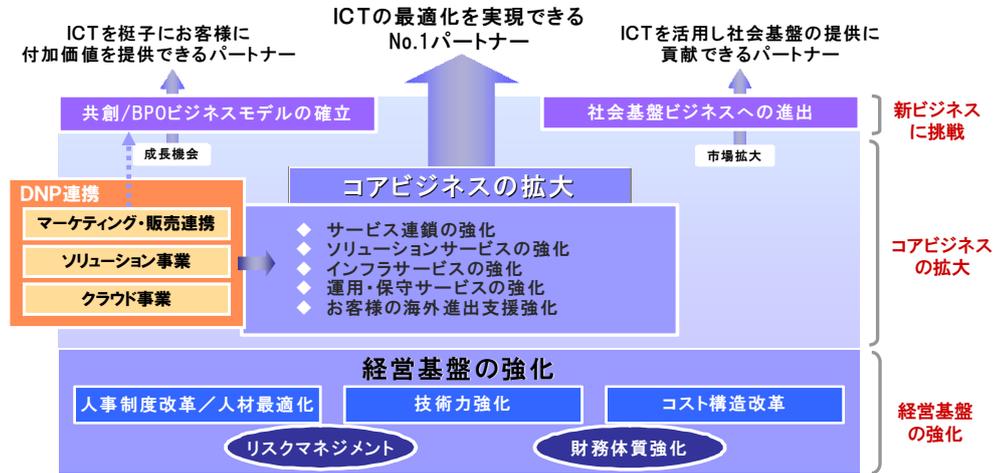


日本ユニシス 代表取締役社長 黒川 茂

©2014 日本ユニシス株式会社

2014年4月1日現在

3年でコアビジネス※の拡大による収益基盤安定化を行い、
新たな機会からビジネス拡大を目指す



※システム＆ネットワークインテグレーション、運用・保守サービスなどの既存事業領域

©2014 日本ユニシス株式会社

主要戦略

「繰り返し声をかけたい」パートナーであるために
お客様の期待を超えるサービスを提供します

	重点戦略	戦略概要
コアビジネスの拡大	サービス連鎖の強化	・ICTライフサイクル全体にわたるサービスの提供
	ソリューションサービスの強化	・カスタマイズを最小限にした導入型ソリューションサービスへの転換
	インフラサービスの強化	・仮想化、自動化ソリューションビジネスの加速 ・マルチベンダークラウド、ハイブリッド型システムへの移行提案・再設計ビジネスの加速
	運用・保守(AP～インフラ)サービスの強化	・SI中心の単独サービスから運用・保守(AP、インフラ)含めた包括サービスへのシフト
	お客様の海外進出支援の強化	・海外デリバリ体制の強化
新ビジネス	共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化	・創造や革新を自ら生み出す人材の育成
	社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化	・実証実験プロジェクトへの戦略参加と商用化、ビジネスモデル化

©2014 日本ユニシス株式会社

金融分野 (金融事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

メガバンク・信託	証券・保険	地銀・信金	系統
<ul style="list-style-type: none"> ・資金証券系システム ・信託系ソリューション ・事務集中系システムなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・証券基幹系システム ・FX/商取基幹系システム ・保険金・給付金等の支払いワークフロー領域 ・営業支援系システムなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・勘定系システム ・資金証券系システム ・国際系システム ・経営・顧客情報系システム ・事務集中系システムなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・勘定系システム ・資金証券系システム ・決済系システムなど
共通ソリューション (IFRS※対応システムなど)、BPOビジネス、U-Cloud®、ビッグデータ、共創ビジネス			

※IFRS (International Financial Reporting Standards) : 国際会計基準

主な取り組みと実績

- 2013年 10月** 地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みの強化に向け、ICTソリューションのラインアップを拡大
 ~ 地域医療連携や高齢者世帯の見守り、災害時の情報管理などラインアップを拡充。地域金融機関と提携して金融機関の取引先企業や地方自治体へICTソリューションを提供し、地域経済の活性化を支援 ~
- 2014年 1月** 次世代オープン勘定系システム「BankVision®」を中核とした新基幹系システムがスルガ銀行で稼働開始
- 3月** 川崎信用金庫の統合OAシステムを全面刷新
- 3月** 日本ユニシス、北國銀行、NTT西日本、アイ・オー・データ、RTCの5社が地域情報 & ショッピングサイト「れじおん®」のサービスに向けて協業

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス

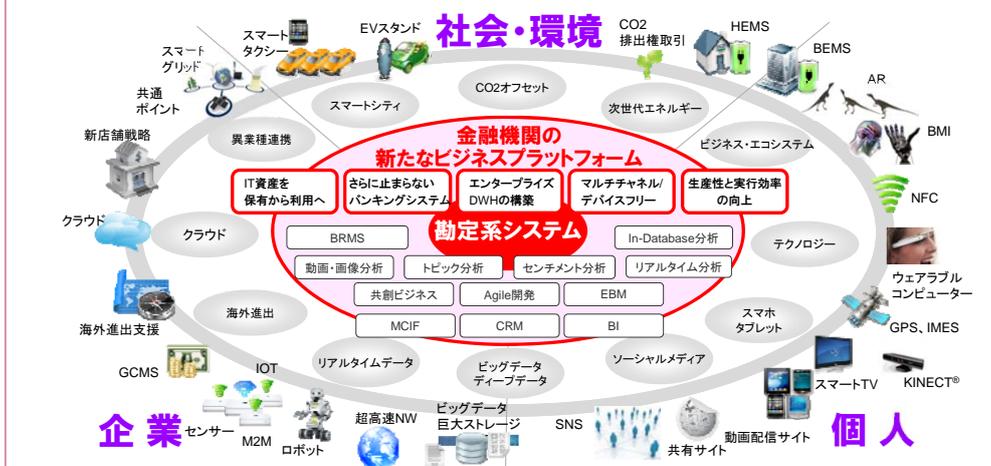
金融分野

ソリューションサービスの強化

共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

地域金融機関の新たなビジネスプラットフォームを創る Next U's Vision® プロジェクト を推進中

コンセプトは、「社会とつながり、情報を集めて、ビジネスを創造し、成長を支えるビジネスプラットフォームへ」



©2014 日本ユニシス株式会社

事業トピックス

金融分野

運用・保守(AP~インフラ)サービスの強化 サービス連携の強化
 インフラサービスの強化 ソリューションサービスの強化

次世代オープン勘定系システム「BankVision®」を中核とした 新基幹系システムがスルガ銀行で稼働開始

世界初、Windows®ベースのフルバンキングシステム「BankVision」は、地方銀行における
 基幹系オープンシステムとして国内ITベンダートップの10行で採用。8行で安定稼働中



- | | |
|----------|-----------|
| ① 百五銀行 | ■ 2007年5月 |
| ② 十八銀行 | ■ 2009年1月 |
| ③ 筑邦銀行 | ■ 2010年1月 |
| ④ 紀陽銀行 | ■ 2010年5月 |
| ⑤ 佐賀銀行 | ■ 2010年5月 |
| ⑥ 山梨中央銀行 | ■ 2011年1月 |
| ⑦ 鹿児島銀行 | ■ 2011年5月 |
| ⑧ スルガ銀行 | ■ 2014年1月 |
| ⑨ 北國銀行 | ■ 導入中 |
| ⑩ A銀行 | ■ 導入中 |
- 本番稼働時期

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

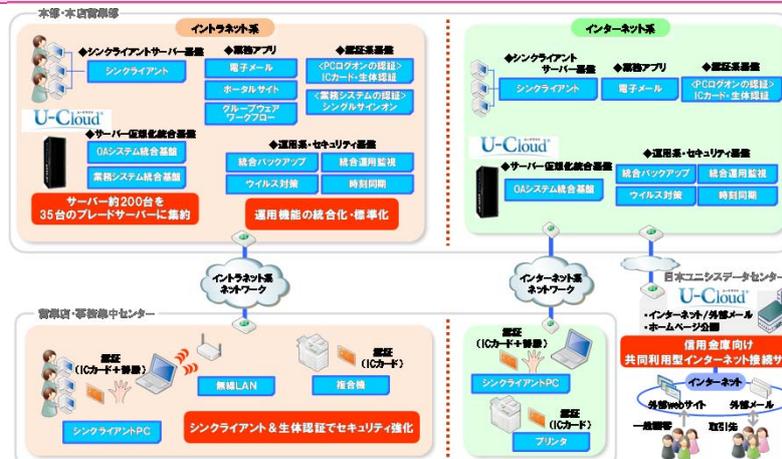
事業トピックス

金融分野

サービス連携の強化 インフラサービスの強化

日本ユニシスグループ 川崎信用金庫の統合OAシステムを全面刷新

プライベートクラウドやシンククライアントなど新たな技術の採用により
 セキュアで安定したシステム統合基盤を再構築し、運用負荷軽減、コスト低減を実現
 利用者目線の統合OAシステムにより、地域金融機関の顧客サービス強化を支援



©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

製造・流通分野（製造流通事業部門）

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

製造	流通
<ul style="list-style-type: none"> ・製造業向けCAD/CAMシステム ・住宅業界向け3次元住宅設計システム ・購買・調達ソリューション ・取引先調査SaaSソリューション ・含有化学物質管理システム ・ロケーション・メディアサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代流通基盤、小売業向け次世代流通ソリューション ・ダイレクトマーケティング(DM)業界向けソリューション ・アパレル統合ソリューション ・製菓業界向けソリューション ・リース業向けポータル・システム ・クラウド型タクシー配車システム

サービス連鎖の強化

主な取り組みと実績

2013年 10月	リース業向け次世代基幹システム「Lease Vision®(CoreCenter® for Lease)」を販売開始 ～時代の変化に強い次世代統一基盤「CoreCenter BASE」を採用、短期間・低コスト・高品質での導入を実現～
11月	流通業向けタブレットソリューション「CoreCenter Tablet」検証開始 ～流通業の基幹業務と現場業務の融合(イノベーション)を可能に。第一弾として、店舗向け業務支援サービスを提供～
2014年 1月	次世代通販ソリューション「CoreCenter for DM」を販売開始 ～通販業界における約25年間の豊富な知見・ノウハウを活かし、機能をコンポーネント化。短期間導入を実現し、変化するビジネス環境への迅速な対応が可能に～
2月	自動車部品メーカーを中心にCADシンクライアントの導入検証サービスを提供開始 ～主要システムベンダーとCADシンクライアントの技術検証を実施し、製造業の設計部門のグローバル化対応時の業務やシステムの課題を解決～
4月	ニッセンホールディングスと情報システム業務のアウトソーシング契約を更新 クラウド型タクシー配車システム「smartaxi®(スマートタクシー)」の稼働を開始 ～デジタル無線から携帯電話回線を利用した配車システムに移行し、短時間での配車を実現。少ないコストで、タクシー利用者の利便性向上へ～

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

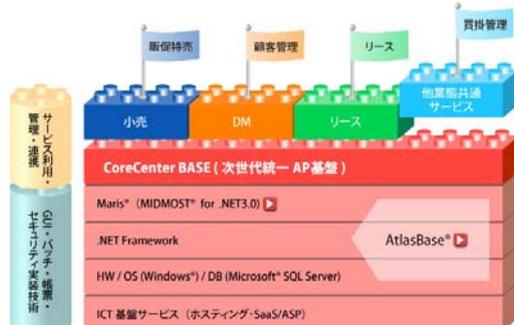
事業トピックス

製造・流通分野

ソリューションサービスの強化

次世代統一基盤『CoreCenter®』

～ 各業界向けの業務別システムをコンポーネント化し、短期間・低コスト・高品質での導入を実現 ～



- 長年にわたる多くの基幹システムの構築・提供で培った知財を投入したコンポーネントを用意
- 各業種向けサービスの相互利用が可能
- SOA※を基本としたコンポーネント構造
- Web技術によりクラウド環境での稼働も可能



時代の変化に素早く対応し、競争優位を実現

※SOA : Service-Oriented Architecture (サービス指向アーキテクチャ)

2012年 3月	トーホーストアの新基幹システムが「CoreCenter for Retail」で本番開始
2013年10月	リース業向け次世代基幹システム「Lease Vision® (CoreCenter for Lease)」を販売開始
11月	流通業向けタブレットソリューション「CoreCenter Tablet」検証開始 CoreCenterシリーズ 食品SM向け 非接触型惣菜電子マニュアル 検証開始
2014年 1月	次世代通販ソリューション「CoreCenter for DM」を販売開始

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス

製造・流通分野

ソリューションサービスの強化

流通業向けタブレットソリューション 「CoreCenter® Tablet」検証開始

～ 流通業の基幹業務と現場業務の融合(イノベーション)を可能に。
第一弾として、店舗向け業務支援サービスを提供 ～

タブレットの活用により、小売業の店舗業務を改革

- 情報共有ダッシュボード
各店舗の棚割りなどの成功事例や共有情報をドキュメントとして登録し、他店舗との共有を実現
- 店舗業務ToDo管理
店舗で行われる一日の作業のToDo管理機能を提供
- 情報系画面の提供
CoreCenterの plusシリーズである情報分析機能を利用している場合、売上げ速報などの各種画面をタブレットから操作することが可能



©2014 日本ユニシス株式会社

ソリューションサービスの強化

CoreCenterシリーズ 食品SM向け非接触型惣菜電子マニュアル 検証開始

～ モーション・音声センサーにて惣菜電子マニュアルをコントロール。
惣菜加工現場に革新をもたらします ～

最新のリアルなセンサー技術を活用し、店舗業務をイノベート

手振りや声で、電子化された惣菜マニュアルをコントロール
最新のセンサー技術で食品SM様のバックヤードで生かします。

【期待効果】

- 衛生面の向上（紙のマニュアルを持ち込まない）
- 事前教育の短縮（正確なマニュアルを加工時参照）
- 製品品質の向上（いつも同じものを作る）



事業トピックス

製造・流通分野

ソリューションサービスの強化

次世代通販ソリューション 「CoreCenter® for DM」を販売開始

～ 通販業界における約25年間の豊富な知見・ノウハウを活かし、
機能をコンポーネント化。短期間導入を実現し、
変化するビジネス環境への迅速な対応が可能に ～



CoreCenterシリーズの通販業向けソリューション

- 標準機能の充実
長年にわたる通販業での知見・ノウハウを活かした機能が充実
- 導入型ソリューションによる、個別カスタマイズの低減
パラメーター設定による短期間導入を実現
- 情報分析系・CRMソリューションとの連携

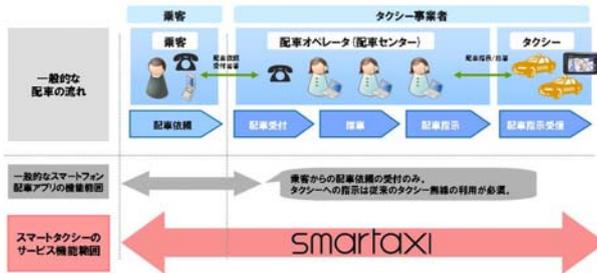
©2014 日本ユニシス株式会社

事業トピックス 製造・流通分野

共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

Android[®]スマートフォンを利用した クラウド型タクシー配車システム「smartaxi[®]」を提供

タクシー配車の仕組みを
「タブレット」と「クラウドサービス」を利用して実現
～ 乗客の配車リクエストからタクシー車両への配車指示までの
完全自動配車をクラウドで実現しました ～



- デジタル無線導入と比較し、初期導入費用を大幅に削減
- クラウドでの提供により、月額課金制で利用可能
- 携帯電話回線を利用するため、不感地帯が少ない

2011年11月
業界最大手のKmグループで稼働開始
2012年8月
地方タクシー会社向け機能を追加し、
福島貫切辰巳屋自動車で稼働開始
2012年12月
宮城県内の業界大手、
仙台中央タクシーで稼働開始

2013年3月
乗客向けスマートフォンアプリ提供開始



2014年4月
中部地区初、豊栄交通岡崎で稼働開始

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス 製造・流通分野

ソリューションサービスの強化

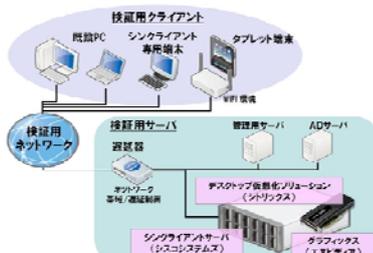
CADシンクライアントの導入検証サービスを提供開始

～ 主要システムベンダーとCADシンクライアントの技術検証を実施し、
製造業の設計部門のグローバル化対応時の業務やシステムの課題を解決 ～

●CADシンクライアント導入検証サービスメニュー

サービス名	内容
グローバル検証サービス	国内環境での検証に加え、海外拠点における実地での検証
国内環境での検証サービス	お客様の国内拠点内にグローバル活用を模した環境を構築し、その環境にて検証
CADシンクライアント導入検討支援サービス	お客様の検証計画立案支援 (現状整理/課題明確化/稼働時の性能、品質の設定など)

●技術検証の概要



1. 検証時期: 2013年11月～2014年1月
2. 参加企業
シスコシステムズ合同会社、エヌメディア、シトリックス・システムズ・
ジャパン株式会社、日本ユニシスグループ
(日本ユニシス株式会社、日本ユニシス・エクセレーションズ株式会社、
ユニアテックス株式会社)
3. 検証の目的
主要製品の組み合わせ環境の構築、CADアプリケーションの動作、
(日本ユニシス・エクセレーションズ株式会社の「CADmeister[®]」を対象として実施)
高セキュリティの確保・海外拠点での利用

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

公共分野(公共事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

官公庁・自治体

- ・雇用均等行政情報システム・住民情報システム
- ・医薬品等申請・審査システム(住基、税、国保、福祉)
- ・総務省遠隔教育実証実験
- ・工事管理支援システム
- ・入札情報サービス(統合PPI)
- ・総合文書管理システム
- ・上下水道料金システム
- ・バス運行管理システムなど

エネルギー

- ・[電力]営業/管配/経理/工事管理システム
- ・[ガス]営業/供給管理システム
- ・[EV]EV充電インフラ(smart oasis[®])
- ・[エネルギー管理]UNIBEMS[®]など

航空・運輸

- ・[エアライン]国内旅客/国際国内貨物システム、国内旅行システム、航空機整備システム
- ・[鉄道]特急座席予約システム、顧客会員管理システムなど

医療・旅行 他

- ・[医療・介護]地域医療連携システム、電子カルテ/医事会計システム、介護業務支援システム
- ・[旅行]旅行基幹システム・[テレコム]サービス申込受付/メルマガシステム など

社会インフラ構築への貢献拡大・サービス効率化実現

主な取り組みと実績

- 2013年 11月** NEXCO西日本の「コールセンターシステム」リニューアルと「お客さまの声分析システム」を同時提供
- 11月** 充電インフラシステムサービス「smart oasis」に、「Visitor Charge[®](ビジターチャージ)」機能を追加し、提供開始
- 2014年 2月** 電気自動車のシェアリングビジネスに参入
～ 東京ベイエリアでカーシェアリング実証事業を開始 ～
- 3月** スズキ教育ソフト、日本ユニシス スズキ校務シリーズをクラウド版にて提供開始
- 3月** 新潟県、大分県の「電気自動車(EV)充電インフラマップ」を提供
～ 充電インフラマップ提供地域を13の府県に拡大 ～

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス

公共分野

ソリューションサービスの強化

初期投資ゼロ！月額2,980円から すぐに利用できる携帯通信型のドライブレコーダ 「無事故プログラムDR[®]」

車両を利用するお客様企業の課題

事故を減らしたい。
保険料を下げたい。

車両管理にかかる
負担が大きい。

燃料費を抑えたい。
CO2削減・エコ対応

これらの課題を解決

企業価値の向上
広く社会に貢献する企業へ

2013年5月
業界初のクラウドで提供する「**踏切監視サービス**」を本格展開

2013年9月
日本気象協会、日本ユニシス クラウドと携帯通信環境で提供する、**災害監視カメラサービス「サイカメラZERO[®]」**を販売開始

2013年10月
掘場製作所、日本ユニシス 車両運行管理、テレマティクス分野での協業を開始

2014年4月 無事故プログラムDR 新機能 をリリース

- ① 動画通信機能(オプションメニュー)の新設
危険運転および車載器のボタンを押した際の緊急通報について、6秒間の動画をリアルタイムに通知
- ② 静止画通信機能の改良
危険通報に添付される静止画の枚数を1枚→6枚に
- ③ 動画通信機能(オプションメニュー)の改良
- ④ 動画閲覧機能の改良
- ⑤ 運行日報(帳票)の改良
- ⑥ 全体管理者向け効果測定自動出力機能の新設

運用負担が少なく、継続できる さまざまなメニューを提供

- とにかく映像が重要！！
映像関連メニュー
- 社員の詳細な業務状況を見て指導したい
社員個別の詳細な運転状況を把握するメニュー
- 社員一人一人のデータ詳細にみるには負担大
組織単位・企業単位の運転状況を把握するメニュー
- 運用の負担を減らして、さらに可視化したい
3G動画送信、動態管理メニュー

運用継続により実現できるコスト削減

- 事故処理コストの削減
- 保険料の削減
- 燃費の向上
- 車両の削減
- 車両管理コストの削減

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス 公共分野

ソリューションサービスの強化

共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

ソリューションサービスの強化

クラウドで提供する
「踏切監視サービス」を本格展開
ドラレコの技術を元に、安心・安全なサービスを、低価格に提供

- 初期投資不要で、月額利用
- 踏切内に通信機能を持ったカメラを設置し、遠隔で映像を確認可能
- 携帯網やWiMAX通信により、「支障情報」がデータセンターへ送られ、管理者へメールで通知
- 管理者は、支障時に写真や映像で確認することができるため、早期に支障対応が可能

「踏切監視サービス」の概要



動画確認機能



自動通報機能/動画再生画面



©2014 日本ユニシス株式会社

日本ユニシスと日本気象協会が提供する
災害監視カメラサービス「サイカメラZERO®」
カメラの設置可能場所が拡大！災害をくまなく監視！もれなく監視！
ドラレコの技術を元に、クラウドと通信環境で、低価格に提供

- クラウドと携帯通信(3G回線およびWiMAX回線)で提供
回線敷設初期コストや、システム構築費用が不要の月額利用
- 日本気象協会の多様なサービスとの連携も可能。

カメラ画像配信

- ①5分毎にカメラ画像を取得②データセンターに送付③これらを管理PC画面に表示

センサー連携(別途仕組みの構築が必要)

- ①アナログ・デジタルの各種センサー情報を取得②サーバ上で情報管理
ZigBeeを利用するため、携帯通信が圏外でもサービス提供可能
- ③閾値を越えたときの画像を管理PC画面に表示
- ④センサー情報に閾値設定することで、各種サービスが利用可能

災害監視カメラサービス「サイカメラZERO」機能の概要 (オレンジサービス範囲、青=オプション)



(敬称略)

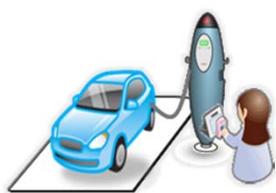
事業トピックス 公共分野

社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化

ソリューションサービスの強化

共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

電気自動車(EV) 充電インフラシステムサービス「smart oasis®」
全国へ広がるsmart oasisの充電インフラネットワーク
通信型急速充電器への導入数業界No.1



- | | |
|----------|--------|
| 東名高速道路 | 名神高速道路 |
| 新東名高速道路 | 山陽自動車道 |
| 中央自動車道 | 岡山自動車道 |
| 東名阪自動車道 | 米子自動車道 |
| 阪神高速道路 | 高知自動車道 |
| 長野自動車道 | 九州自動車道 |
| 伊勢湾岸自動車道 | 大分自動車道 |

東名高速道路の全てのサービスエリア、
名神高速道路、東名阪自動車道、
中央自動車道のサービスエリア・パーキ
ングエリアを含め、
全38箇所にて急速充電サービスを提供



smart oasis
電動車の充電インフラを利用するための
利用者認証機能や課金機能、充電装置の
位置情報・空き情報を提供するサービス

- 2013年度
 - ・名神高速道路などNEXCO西日本管内急速充電サービスにシステム提供
- 2012年度
 - ・自治体向け「充電インフラマップ」無償提供開始
- 2011年度
 - ・パイオニア製カーナビ向け充電インフラ情報配信
- 2010年度
 - ・コンビニエンスストア7社店舗での急速充電サービスにシステム提供
 - ・他社システムとの連携を開始
 - ・東名高速道路で充電サービスの課金・決済サービスの提供を開始
- 2009年度
 - ・充電インフラシステムサービスの提供開始
(青森県、大阪府、石油元売※)
 - ※石油元売:原油を精製して石油製品として販売する会社

自治体向けに「充電インフラマップ」を提供

全国13府県 (静岡県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県、奈良県、新潟県、大分県)

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス 公共分野

ソリューションサービスの強化

社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化

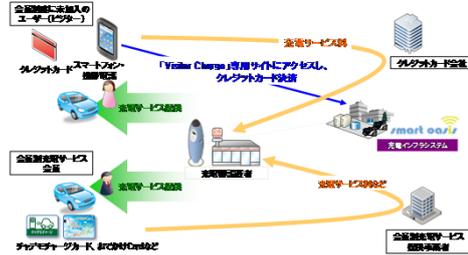
ソリューションサービスの強化

充電インフラシステムサービス「smart oasis[®]」に「Visitor Charge[®]（ビジターチャージ）」機能を追加し、提供開始

- 日本ユニシスでは、会員制充電サービス提供事業者（充電網整備推進機構が発行する会員カード「チャデモチャージ」、JTBコーポレートセールスと日本ユニシスが発行する会員カード「おでかけCard」など）に対して、「smart oasis」による認証・課金機能を提供してきたが、「Visitor Charge」機能は、非会員への課金を実現するもの
- これまで会員以外は利用できなかった充電サービスも、すべての電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHV）利用者が有料で利用可能となる、充電インフラの実現を目指したもの

「Visitor Charge」機能の概要図

会員制充電サービスに未加入のユーザー（ビジター）に対する課金を実現
充電器設置者は、非会員に対しても、無人で24時間365日、充電サービスを提供可能

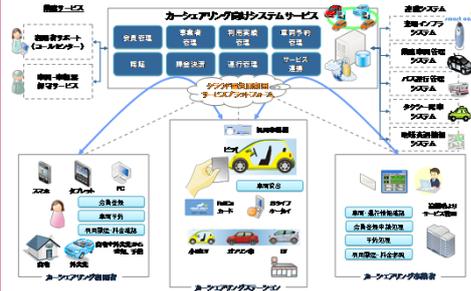


©2014 日本ユニシス株式会社

電気自動車のシェアリングシステムに参入 東京ベイエリアでカーシェアリング実証事業を開始

- 日本ユニシスの「カーシェアリング向けシステムサービス」は、EVの活用形態として注目されるシェアリングサービスに、自社の強みであるITによる車両管理、運行情報管理、データ分析技術を活かし、EV・PHV向け充電インフラシステムサービスや公共交通向けサービスとの連携によって、新たな地域交通サービスの実現を目指すもの
- 環境省「CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の採択を受け、システムの開発・検証を行い、2014年2月に東京ベイエリアで、EVと小型EVを用いたカーシェアリング実証事業を実施

「カーシェアリング向けシステムサービス」概要図



(敬称略)

DXNビジネス推進部トピックス 新たな業務提携への取り組み

DNP連携

大日本印刷と日本ユニシス 業務提携の狙い

異業種提携で新事業・新サービスを創出
新規市場拡大の実現に向け事業基盤を強化する取り組みを推進



©2014 日本ユニシス株式会社

DXNビジネス推進部 トピックス 新たな業務提携への取り組み

DNP連携

大日本印刷と日本ユニシス 主な取り組み(2013年4月～2014年3月)

- 2013年6月 日本ユニシスグループ「BITS®2013 in Tokyo」へ共同出展
・「DNP×日本ユニシス共創」セッションをはじめ
共同でソリューションを展示。
- 2013年10月 **大日本印刷と日本ユニシス 商品情報を一元管理するPIMシステム「PRO-V (プロ・ファイブ)」のクラウド型サービスを販売開始**
- 2013年10月 ICTビジネスの事業基盤となる『DNP柏データセンター』を開設
- 2013年10月 **大日本印刷、日本ユニシス、図書館流通センター、丸善クラウド型電子図書館サービスを刷新、図書館と生活者の利便性向上へ**
- 2013年11月 **日本ユニシス、日本IBMの協力のもとマーケティング支援サービスを開始**
～「価値観クラスター」とビッグデータを組み合わせて、生活者の真のニーズを把握～
- 2013年11月 **大日本印刷「次世代コミュニケーション展」へ共同出展**
・ビッグデータ時代の新しいコミュニケーションをテーマに、ソリューションを展示。
- 2014年3月 「リテールテックJAPAN2014 & NFC Smart WORLD2014」へ共同出展
・リテール分野に訴求した両社連携のソリューションを展示。



赤字: 共同のニュースリリース 青文字: 大日本印刷のニュースリリース 黒文字: 共同出展のイベント

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

DXNビジネス推進部 トピックス 新たな業務提携への取り組み

DNP連携

DXNビジネス -大日本印刷と日本ユニシス 連携ソリューション 事例-

両社サービスを連携し、ワンストップサービスによる お客様の利便性向上

プリントアウトソーシング×基幹システム



空間メディアサービス×統合運用保守



©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

新たなビジネス領域への取り組み

ソリューションサービスの強化

ビッグデータ利活用～ BigDataをBigValueに変える ～ 「ビッグデータ適用シナリオ」と「ソリューションセット」

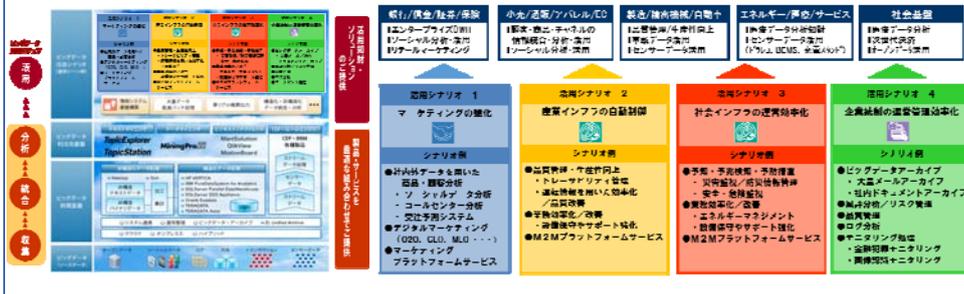
1. 日本ユニシスグループでは、お客様のニーズや当社が毎年選定しているIT利活用の未来像「Technology Foresights[®]」などから、**ビッグデータの活用が見込まれる領域を選定**
2. さらにその中で使われるデータや要素技術、活用形態に共通性がないかを考慮し、**ビッグデータの適用シナリオを大きく4つに分類**
3. 各シナリオごとに、日本ユニシスグループが持つ各種ソリューションや知財を組合せ、技術検証済みの**ソリューションセットとして提供**

●ソリューションマップ

ビッグデータをお客さまにとって価値あるデータに変えていくために、お客さまの課題解決やニーズに最適な技術と製品・サービスをベストオブブリードな組み合わせで提案します。

●活用領域

- 1) マーケティングの強化(商流・決済: 自宅、浴槽、街中、オフィス内、施設内、店舗内)
- 2) 産業インフラの自動化(集配センター・倉庫等、工場・農地・出入口等)
- 3) 社会インフラの運営効率化(輸送・貨物・エネルギー・上下水道、河川森林・医療・自治体)
- 4) 企業統制の運営管理の効率化(企業内、企業間、企業・個人間)



©2014 日本ユニシス株式会社

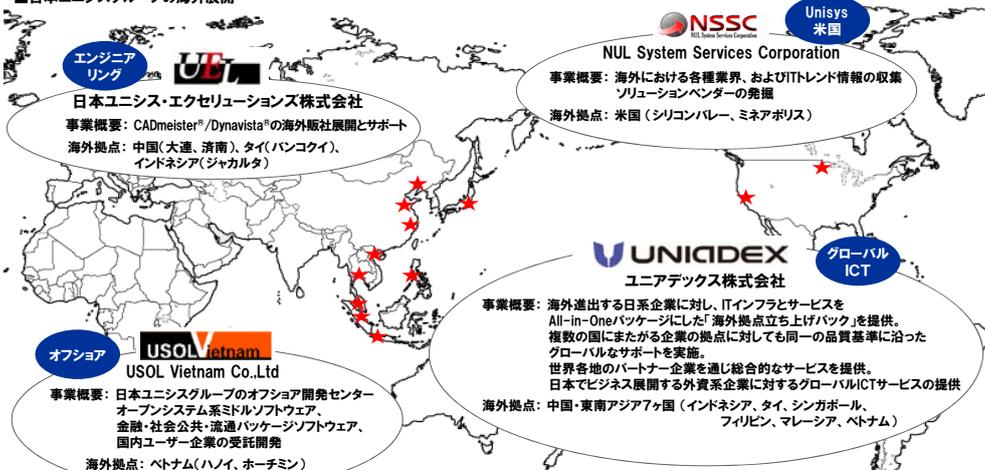
日本ユニシスグループのグローバルビジネス

お客様の海外進出支援の強化

2014年度 ASEAN拠点を強化し、海外進出日系企業を全面的にサポート

日本ユニシスグループ各社の横断的連携、現地企業との協業により、新たな領域でのビジネス獲得を目指す ITインフラビジネスの拡大、国内ソリューションの海外展開を図る

■日本ユニシスグループの海外展開



■グローバルパートナー Unisys Corporation, Infosys Limited など: 世界50カ国以上(北米、欧州、アジア、オーストラリア、ニュージーランドなど)

©2014 日本ユニシス株式会社

(敬称略)

ユニアデックス トピックス

サービス連携の強化 インフラサービスの強化 運用・保守(AP~インフラ)サービスの強化

2014年3月1日 ユニアデックスとネットマークは、合併統合
 新生ユニアデックスとして再スタート



『インフラトータルサービスNo.1』

「クラウド」「モビリティ」「ソーシャル」「ビッグデータ」を活用し、マーケティング/販売力の強化、研究開発/生産性の向上、サービス向上、ガバナンス強化、コスト削減、安全・安心の追求をする時代。ユニアデックスは、サーバー、ネットワーク、デバイスなどを統合的に取り扱い、ICTインテグレーション、システムマネジメント、ファシリティ、保守サポート、グローバル対応、さらには複数のクラウドサービス利用を支援する「クラウドフェデレーションサービス」などを軸に、ICTをベースとした社会基盤を支えていきます。

お客様・社会のICT利活用の多様化/高度化



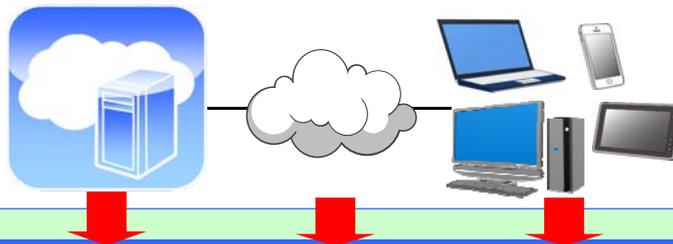
©2014 日本ユニシス株式会社

ユニアデックス トピックス 先端分野への取り組み

サービス連携の強化 インフラサービスの強化 運用・保守(AP~インフラ)サービスの強化

統合システムマネジメントサービス IP&A[®]

データセンター ネットワーク クライアント



リモートとオンサイトの組み合わせによるハイブリッド運用保守

クラウド時代の運用サービス
 サーバからクライアントをまとめて、高品質かつ低コストの運用保守

©2014 日本ユニシス株式会社

ユニアデックス トピックス クラウド関連ビジネスの取り組み

サービス連携の強化 インフラサービスの強化 運用・保守(AP~インフラ)サービスの強化

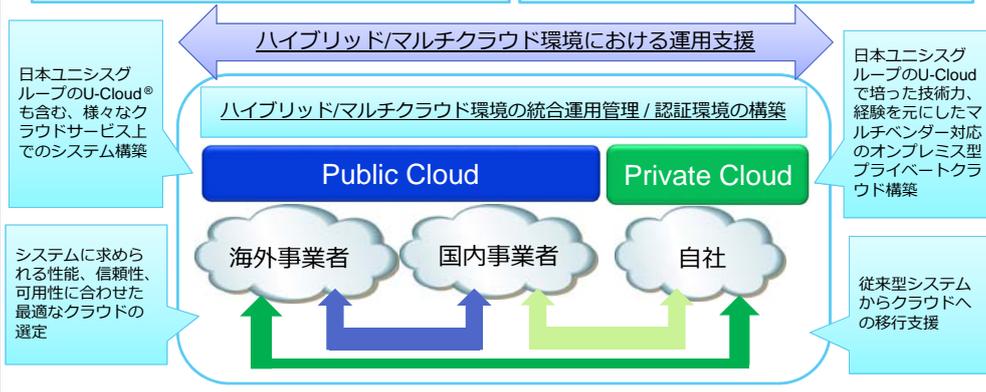
「インフラトータルサービス企業」としてクラウド分野
 でのお客様のICT活用高度化を総合力で支えます。

クラウドフェデレーションサービス

今後、お客様のクラウド利用環境が、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドへとシフトしていくなか、各クラウド間をまたがるデータ連携、統合認証、相互接続などの各種連携環境の構築を支援する「クラウドフェデレーションサービス」を提供します。

クラウド対応運用サービス

ハイブリッドクラウド、マルチクラウドにおいては、利便性の向上、コスト低減といったメリットの反面、よりシステム運用管理の複雑化、高度化が課題となります。「クラウド対応運用サービス」はクラウド環境でのシームレスな運用を支援します。



©2014 日本ユニシス株式会社

ユニアデックス トピックス 顧客満足度

ユニアデックスは、日経BP社「日経コンピュータ第18回顧客満足度調査の「システム運用関連サービス（情報サービス会社）部門」1位を獲得しました。



日経コンピュータ 2013年8月22日号
 第18回 顧客満足度調査 **2年連続**
 システム運用関連サービス
 (情報サービス会社) 部門 **第1位**

システム運用関連サービス
 情報サービス会社

順位 (前回)	会社名	総合満足度	サポートする製品や技術の幅広さ	日常作業の正確性	トラブルの予防	初期対応	トラブル発生時のシナジー	セキュリティ対策	問い合わせの対応	利用料金	サービスの継続意向度	有効回答数
	重視度		20.0	34.8	26.0	68.4	39.8	11.3	46.3	30.9		
	全社平均(有効回答数は合計)	64.9	66.2	68.4	60.5	67.5	65.8	67.6	65.4	55.8	68.7	1387
1(1)	ユニアデックス	77.9	80.5	81.8	71.1	81.1	80.5	76.1	79.2	65.4	79.5	53

©2014 日本ユニシス株式会社

主なニュースリリース
(2013年11月～2014年4月)

日本ユニシス株式会社

主なニュースリリース（2013年11月～2014年4月）

2014年4月末 現在

※2014年3月1日付で株式会社ネットマークスはユニアデックス株式会社と合併統合しました。

発表日		内 容
1	11月11日	<p>日本ユニシス 流通業向けタブレットソリューション「CoreCenter® Tablet」検証開始</p> <p>～流通業の基幹業務と現場業務の融合（イノベーション）を可能に。第一弾として、店舗向け業務支援サービスを提供～ 日本ユニシスは、流通業向けタブレットソリューション「CoreCenter Tablet」の検証を開始しました。 このタブレットソリューション「CoreCenter Tablet」は、小売業の現場業務の改革を支援するものです。単にタブレットで業務を行うのではなく、業務を効率化、進化させていく過程の中で、タブレットを有効活用しようというソリューションです。昨今企業では、デスクトップやノートPCにかわるデバイスとして、タブレットを中心としたスマートデバイスの利用が増えつつあります。しかし、業務で利用している企業の満足度は、業務の見直しを伴わずに導入することが多いため、個人での利用に比べて低いと言われています。また流通業界においては、店舗での接客に利用することが多く、カタログの参照などを中心に活用されています。またスマートデバイスのOSとしては、Windows® 8.1も登場し、iOS、Android®と選択の幅も広がっています。このようなニーズに対応するため、日本ユニシスが長年培ってきた小売業のお客さま向けシステム開発での経験をもとに、お客さまが自席で行ってきた業務を変革しつつ、より現場作業で実現できるようなタブレットソリューション「CoreCenter Tablet」の検証を開始しています。2012年2月から提供している、小売業向け流通次世代ソリューション「CoreCenter for Retail」の業務機能をタブレットでも利用できるよう、さらに基幹業務と現場業務の融合（イノベーション）を実現し、基幹業務と現場業務の垣根をなくし、本部でも店舗でもタブレットがあれば全ての業務に対応できる仕組みに変えていくことを目指し、お客さまの利便性の向上を図っていきます。</p>
2	11月12日	<p>日本ユニシス NEXCO西日本の「コールセンターシステム」リニューアルと「お客さまの声分析システム」を同時提供</p> <p>～「お客さまの声」から市場ニーズを迅速に可視化し、全社でのCS推進活動を支援～ 日本ユニシスは、西日本高速道路の「コールセンターシステム」の刷新、CS（顧客満足）向上に向けた「お客さまの声分析システム」を構築し、2013年4月に同時稼働しました。 NEXCO西日本は、2005年に日本道路公団の分割民営化に伴い発足した当初から、お客さまの声を事業に反映するために「CS推進本部」を新設し、お客さまの満足度の向上に努めています。2013年4月、高速道路をご利用されるお客さまからのご意見やご要望を確実に収集することを目的に、コールセンターの「お客さま対応支援システム」をリニューアルすると同時に、そこに蓄積された「お客さまの声」をより深く洞察する「お客さまの声分析システム」を新たに導入し、さらなるお客さまの満足度向上に取り組んでいます。日本ユニシスは、長年に渡るCRM／コールセンター分野でのシステム構築ノウハウをパッケージ化したコンタクトセンターソリューション「UNIVERSALCRM® CALL CENTER APPLICATION（以下UCCAP®）」とテキストマイニングによる顧客分析、商品分析などの豊富なシステム構築実績をもとに開発したテキスト分析・情報共有ソリューション「TopicStation®」を併せて提案し、今回採用されました。日本ユニシスは、2013年10月、「TopicStation」のソーシャルメディア対応を強化し、Twitter／ブログ・掲示板データの自動連携を可能とする「ソーシャルメディア連携サービス」の販売を開始しました。今後も「UCCAP」「TopicStation」をはじめとした、最先端のCRMソリューションを市場へ投入していきます。</p>
3	11月13日	<p>日本ユニシス 充電インフラシステムサービス「smart oasis®」に、「Visitor Charge®（ビジターチャージ）」機能を追加し、提供開始</p> <p>日本ユニシスは、充電インフラシステムサービス「smart oasis（スマートオアシス）」に「Visitor Charge（ビジターチャージ）」（以下 Visitor Charge）機能を追加し、本日から提供を開始します。 日本ユニシスでは、これまで会員制充電サービス提供事業者に対して、「smart oasis」による認証・課金機能を提供してきましたが、「Visitor Charge」機能は、非会員への課金を実現するものです。これまで会員以外では利用できなかった充電サービスも、全てのEV・PHV利用者が有料で利用可能となる、充電インフラの実現を目指したものです。日本ユニシスでは、これまで会員制充電サービス提供事業者に対して、「smart oasis」による認証・課金機能を提供してきましたが、「Visitor Charge」機能は、非会員への課金を実現するものです。これまで会員以外では利用できなかった充電サービスも、全てのEV・PHV利用者が有料で利用可能となる、充電インフラの実現を目指したものです。日本ユニシスでは、今後も「smart oasis」による「課金サービス機能」の充実を図り、充電器設置者への支援とEV・PHV利用者に利便性の高いサービスの提供に取り組むとともに、全国の充電インフラ整備に貢献していきます。</p>
4	11月19日	<p>ネットマークス※ 「aspera（アスペラ）」による高速ファイル転送をクラウド環境で実現</p> <p>～初期投資／運用管理業務の負担を軽減し、必要なときにすぐ利用することが可能～ ネットマークス※は、販売代理店として提供している高速ファイル転送ソフトウェア「aspera（アスペラ）」とクラウドサービスを組み合わせ、クラウド環境においてもセキュアに大容量ファイルを高速転送できるソリューションの提供を、12月より開始いたします。今回採用するクラウドサービスは、日商エレクトロニクスグループ会社であるエヌシーアイが提供するプライベートクラウドサービス「ZETA Cloud Private」で、本ソフトウェア向けにカスタマイズされたクラウドサービス「aspera向けパッケージ on ZETA」となります。本ソリューションにより、サーバ構築や回線帯域の増強などを行うことなく、必要に応じてクラウド環境でもセキュアに、かつ高速に大容量データの転送が可能となります。ネットマークス※とエヌシーアイは、本ソリューションを主に映像・ゲーム制作などを行うエンターテインメント企業、設計図面を扱う製造業を中心に拡販してまいります。</p>

発表日		内 容
5	11月19日	<p>日本ユニシスグループ 情報共有基盤に「Office 365®」を採用、日本マイクロソフト社と協業し、関連サービスを順次、提供予定</p> <p>～ 組織を横断した円滑なコミュニケーション・情報共有、知識・技術の共有によるスマートワークの実践を目指して～ 日本ユニシスグループは、グループ社員約9,000名が使用するグループ全社で統一化した情報共有基盤に、日本マイクロソフト社の「Office 365」の採用を決め、本年11月より順次導入を開始しています。また、お客さま向けにはオンプレミス（自社導入）環境での「Exchange(TM)」、「SharePoint®」、「Lync®」の構築実績を踏まえて、クラウドサービスで提供される「Office 365」利用環境を構築するほか、ハイブリッド型の情報共有基盤を構築・利用するためのサービスを順次提供していく予定です。日本ユニシスとユニアデックスは、これまでのオンプレミス環境での構築実績と今回の自社導入で得られる全社情報共有基盤の適用ノウハウをもとに、企業の情報共有基盤として、クラウド、オンプレミス、ハイブリッドのいずれの環境にも幅広く対応できるアセスメントサービスを整備し、お客さまに最適な環境を構築、あるいは利用していただくためのシステムサービスを順次提供予定です。日本ユニシスグループは、今後も、日本マイクロソフト社と協業し、Office 365およびExchange、SharePoint、Lyncを提供するシステムサービスの推進とマーケティング活動を強化し、お客さまへの提案を推進し、今後3年間で60億円のビジネスを目指します。</p>
6	11月27日	<p>ユニアデックス、ネットマークス※ 「インフラトータルサービス企業」を目指し、合併統合</p> <p>日本ユニシスは、日本ユニシスグループのユニアデックスとネットマークス※を、2014年3月1日付けで合併統合します。存続会社はユニアデックスです。 これにより、新生ユニアデックスは、社員数約3,200名、売上高約1,300億円規模、そして国内180拠点、提携先を含めて130カ国以上の海外拠点を持つ企業となり、ICTインフラ領域を主戦場とする情報サービス業の中でもトップクラスの業容となります。日本ユニシスグループは、「サービスアグリゲーター」への進化を目指しております。そのために、従来からのビジネスに加え、お客さまの価値向上に寄与するアプリケーションの構築や社会基盤ビジネスの推進、マーケティングプラットフォームの展開を図っていきます。今回の取組みは、その土台を拡張することとなり、グループ全体の展開力を強化するものとなります。</p>
7	12月24日	<p>日本ユニシス 「オープンデータの推進のためのデータカタログの在り方に関する調査」を、内閣官房から受託</p> <p>日本ユニシスは、政府など行政機関が保有する白書、防災・減災情報、地理空間情報、人の移動に関する情報、予算・決算・調達情報、統計情報といった公共データを、民間ビジネスなどで積極的に活用できるようにする「オープンデータ」政策の具体的施策の推進のため、「データカタログ（オープンデータのポータルサイト）」に求められる要件、構造、利用者向けユーザビリティといった、データカタログのあるべき姿に関する調査研究「オープンデータの推進のためのデータカタログの在り方に関する調査」（以下 本プロジェクト）を、内閣官房から受託しました。 本プロジェクトでは、データカタログにおいて先行している国内外の事例などを調査・分析することで、データカタログに求められる要件、メタデータの構造などについて明らかにします。また、検証用のデータカタログサイト（以下 データカタログサイト試行版）を構築・運用し、利用者向けユーザビリティのあるべき姿を調査・分析します。さらに、データカタログを利用したオープンデータの取り組みを加速するための開発者向けサービスの在り方について調査・分析します。日本ユニシスは、これまでに中央省庁や自治体の実証事業において公共データやオープンデータの利活用に関する活動を推進しています。また、国立情報学研究所 社会共有知センターと連携して次世代情報共有基盤の研究を進めており、その実績としては「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」や新世代研究基盤「Researchmap」などがあります。日本ユニシス 総合技術研究所は、この経験、見識をもとに2014年3月31日まで本プロジェクトを推進していきます。</p>
8	1月6日	<p>日本ユニシス 次世代オープン勘定系システム『BankVision®』を中核とした新基幹系システムがスルガ銀行で稼働開始</p> <p>日本ユニシスとスルガ銀行は日本ユニシスが提供する「次世代オープン勘定系システム『BankVision』」を中核とする、スルガ銀行の新基幹系システムを開発し、2014年1月5日から稼働を開始しました。 日本ユニシスは、長年にわたり地域金融機関向けのパッケージを提供してきており、特に地方銀行においては長年蓄えられてきたノウハウに基づき数多くの採用実績を持っています。Windows®ベースのフルバンキングシステム『BankVision』は、地方銀行における基幹系オープンシステムとして国内ITベンダートップの10行で採用されており、稼働実績は今回のスルガ銀行で8行目となります。新システムの導入により、スルガ銀行では、今後の新規業務への対応や、新商品・新サービス提供に向けた迅速なシステム開発が可能となります。また、万一大規模災害でシステムがダウンした場合の復旧時間の大幅短縮も可能となるなど、同社のお客さまに対し、従来以上に高品質なサービスのタイムリーな提供が実現できます。本新勘定系システムは、マイクロソフト社のWindows Server® 2008/SQL Server(TM) 2012を利用しており、『BankVision』として最新のインフラの採用となります。システムの運用は、日本ユニシスが提供する共同アウトソーシングセンターに委託します。日本ユニシスでは、今回のスルガ銀行での構築プロジェクトを含む地方銀行基幹系システム構築の実績により、『BankVision』を多種多様な地方銀行の要求に幅広く対応可能な勘定系システムとして、今後さらに販売体制を強化し、地方銀行からの新たな受注を目指していきます。</p>

発表日		内 容
9	1月9日	<p>ネットマークス※ オールインワン型サーバールームソリューションの販売を開始</p>
	<p>ソリューションサービスの強化 インフラサービスの強化</p>	<p>～ 低コストで高い事業継続性を実現 ～ ネットマークス※は、高い事業継続性や省スペース化・省エネルギー化を実現するソリューション「マイクロサーバールームソリューション」及び「コンテナ型ディザスタリカバリセンター」の販売を、2014年1月より開始いたします。空調システム・電源・消火システムなどを備えたシングルラック及びコンテナに、当社が取り扱うサーバ、ストレージなどを組み合わせ、設計から運用までをワンストップでご提供いたします。なお、各ソリューションのシングルラック及びマルチラックのコンテナ製品は、アライドテレシスとのテクノロジーパートナーシップのもと、「EtherGRID」シリーズの密閉型シングルラック及びコンテナ型データセンターを採用しております。</p>
10	1月27日	<p>日本ユニシス 次世代通販ソリューション「CoreCenter® for DM」を販売開始</p>
	<p>ソリューションサービスの強化</p>	<p>～ 通販業界における約25年間の豊富な知見・ノウハウを活かし、機能をコンポーネント化。短期間導入を実現し、変化するビジネス環境への迅速な対応が可能に ～ 日本ユニシスは、通販業向けの基幹システムである、次世代通販ソリューション「CoreCenter for DM」を本日から販売開始します。 日本ユニシスは、大手通販業の4割を超えるお客さまに、通販業に特化したフルフィルメントシステム(注文～出荷、代金回収に至る業務を網羅したシステム)や、CRM(Customer Relationship Management)ソリューションなどを提供しています。「CoreCenter for DM」は、この経験の中で培った豊富な知見やノウハウを集約し、通販業に必要な機能をコンポーネント化し、パラメーター設定によるノンカスタマイズを前提とした導入を行なうことで、最短で6カ月での導入を実現します。従来のソリューションは、カスタマイズ対応での導入が多く、期間の長期化による負荷増大が課題となっていました。「CoreCenter for DM」は、この課題を解決し、お客さまの急激なビジネスの変化に対応可能な環境を実現します。今後環境の変化に応じて必要になる機能についても、順次提供していきます。日本ユニシスは、2011年に策定した中期経営計画(2012→2014)の重点戦略において「ソリューションサービスの強化」などにより、「ICTの最適化を実現できるNo.1パートナーとなる」ことを目指しています。流通分野においては、得意分野である小売業や通販業などのソリューションを、短期導入を実現する導入型ソリューションにシフトし、流通次世代基盤「CoreCenter BASE」による共通基盤の強化を進めています。</p>
11	2月10日	<p>日本ユニシス 電気自動車のシェアリングビジネスに参入</p>
	<p>ソリューションサービスの強化 社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p>	<p>～ 東京ベイエリアでカーシェアリング実証事業を開始 ～ 日本ユニシスは、電気自動車(EV)や小型の電動車両(小型EV)を利用した「カーシェアリング向けシステムサービス」に参入します。 電動車両を利用したカーシェアリングサービスは、これまで国内外でさまざまな取り組みがおこなわれてきました。国内では、レンタカー事業や駐車場事業などからの参入による大手事業者のほか、マンション管理、ガソリンスタンド、観光サービス業、タウンマネジメント事業などからの地域単位の小規模な取り組みもあります。また、海外では、自動車メーカー自らによるサービスや電機メーカーなどがそれぞれの強みを活かしたサービスに参入しています。日本ユニシスの「カーシェアリング向けシステムサービス」は、EVの利活用形態として注目されるシェアリングサービスに、自社の強みであるITによる車両管理、運行情報管理、データ分析技術を活かし、また、EV/プラグインハイブリッド車(PHV)向け充電インフラシステムサービスや公共交通向けサービスとの連携によって、新たな地域交通サービスの実現を目指すものです。このたび、環境省「CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の採択を受け、システムの開発・検証を行い、本年2月10日から、東京ベイエリアで、EVと小型EVを用いたカーシェアリング実証事業を実施します。</p>
12	2月18日	<p>日本ユニシスグループ 自動車部品メーカーを中心にCADシンクライアントの導入検証サービスを提供開始</p>
	<p>ソリューションサービスの強化</p>	<p>～ 主要システムベンダーとCADシンクライアントの技術検証を実施し、製造業の設計部門のグローバル化対応時の業務やシステムの課題を解決 ～ 日本ユニシスなど日本ユニシスグループは、自動車部品メーカーを中心とした製造業の設計部門向けに、グローバル化対応時の業務やシステムの課題を解決するCADシンクライアント導入検証サービスの提供を開始します。昨今の製造業では、グローバル展開を進める上で、設計から販売、アフター対応までの業務全体を現地にてタイムリーに実施することが必要となっており、CADシステムにおいては、次のような課題があります。 ・海外拠点との間で機密性の高いCADデータをやりとりすることによる情報漏えい ・災害などのトラブル発生時の業務継続や業務復旧 ・海外拠点の運用や管理にかかるコスト ・利用環境の多様化などのニーズへの対応(既設PC、タブレットなど) これらの解決策として、CADシンクライアントの導入が製造業企業にて関心を集めています。日本ユニシスグループは、これらの課題を解決するため、製造業のグローバル環境でのCADシンクライアントに関する以下の検証サービスの提供を開始します。</p>

発表日		内 容
13	2月25日	<p>日本ユニシス 日経BP社「第8回クラウドランキング」において、2部門2サービスが「ベストサービス」に選出</p>
	<p>インフラサービスの強化 運用・保守(A P～インフラ)サービスの強化</p>	<p>日本ユニシスは、日経BP社のIT系 総合メディアである「日経コンピュータ」と「ITpro」が共同で実施する「第8回クラウドランキング」において、本日、2部門2サービスが「ベストサービス」に選出されました。なお、「ベストサービス」選出は、「第2回クラウドランキング」から、今回で7回連続となります。 今回、「ベストサービス」に選出されたサービスは、下記のとおりです。</p> <p>★汎用情報系SaaS部門 「LearningCast® update9」 (SaaS型企業向け教育プラットフォーム提供サービス)</p> <p>★特定業種業務向けSaaS部門 「TRADEBASE® for FX」 (外国為替証拠金取引(FX)市場向けSaaS型インターネット取引システム)</p>
14	2月27日	<p>ネットマークス※ ネットワークのトラフィック遅延を監視するCorvilNetシリーズを販売開始</p>
	<p>ソリューションサービスの強化 インフラサービスの強化</p>	<p>ネットマークス※は、CORVIL LIMITED(アイルランドダブリン、CEO ドナル・バーン、以下 コービル社)と販売代理店契約を締結し、同社が提供するCorvilNetシリーズを本日より販売開始いたします。 本製品は、ネットワーク上のトラフィックをキャプチャ・分析し、遅延を管理・監視するネットワーク監視ツールであり、ナノ秒単位の遅延を可視化することが可能です。その為、極めてわずかな遅延も許されないリアルタイム性を求められるシステムの監視に有効です。また、既存ネットワークに配置されたスイッチ等から情報を収集する為、既存のネットワークに影響を与えることなく、ご利用いただけます。本製品の導入価格は、約700万円(ローエンドモデルCNE-2100の場合)からとなります。近年では低遅延システムの重要性が高まり、金融取引システムからオンラインゲーム、VDI(Virtual Desktop Infrastructure)、ビデオ配信システムまで適用範囲が広がっており、ネットマークス※では、金融業やゲーム・動画などのコンテンツプロバイダ、大規模ECサイト運営事業者など、エンタープライズのお客様を中心に拡販してまいります。</p>
15	2月27日	<p>日本ユニシス ニッセンホールディングスと情報システム業務のアウトソーシング契約を更新</p>
	<p>インフラサービスの強化 運用・保守(A P～インフラ)サービスの強化</p>	<p>日本ユニシスは、通信販売業界大手である株式会社ニッセンホールディングスとの間で、同社の情報システム業務のアウトソーシング契約を更新し、順次運用を開始しました。 契約の対象となる業務は、アプリケーション構築支援・保守、サーバーやネットワークの運用・保守、ヘルプデスクなど、ニッセンの情報システム業務全般にわたります。戦略・企画といった特に創造性の高いコア業務については、ニッセンの情報システム部門が担います。ニッセンは、昨年創業50周年目を迎える2020年までの8年間を“第二の創業期”と位置づけ、成長戦略の5つの柱を軸にした中長期にわたる8カ年計画「Nissen Vision 50」を策定しています。今回のアウトソーシング契約の更新は、同経営計画の実現に向けた組織体制強化の一環でもあり、業務委託による高品質で安価なITサービスの安定した提供により、急速に変化する経営環境へのスピーディな対応と、さらなる競争力の強化を図ります。日本ユニシスは、2001年から13年間、ニッセンのシステム運用・アプリケーションの保守運用業務のアウトソーシングを請け負ってきました。この中で、ニッセンの企業文化やシステムを深く理解し、変化する環境の中で柔軟に対応してきたことが評価され、契約更新に至りました。今後もこれまでの実績に加え通販業界で長年にわたり培ってきたノウハウを活用することで、ITを活用し競争力強化を図り、ニッセンの経営戦略にさらに貢献できるよう努力していきます。</p>
16	3月7日	<p>日本ユニシスグループ 川崎信用金庫の統合OAシステムを全面刷新</p>
	<p>サービス連鎖の強化 インフラサービスの強化</p>	<p>～ プライベートクラウドやシンクライアントなど新たな技術の採用によりセキュアで安定したシステム統合基盤を再構築し、運用負荷軽減、コスト低減を実現。利用者目線の統合OAシステムにより、地域金融機関の顧客サービス強化を支援 ～</p> <p>日本ユニシスなど日本ユニシスグループは、川崎信用金庫の統合OAシステムを全面刷新し、全店で稼働開始しました。 本システムは、川崎信用金庫の職員が利用するパソコンや複合機・プリンタ、メール、金庫内のポータルサイト、勤定系を含む営業店ネットワーク、インターネット接続環境など、日々の業務を支える重要システムです。神奈川県を中心に地域に根ざした活動を展開し、預金量、融資量ともに全国トップクラスである川崎信用金庫では、顧客サービス強化へ一層注力するために、よりセキュアで安定稼働し、職員が簡単に利用でき、さらに今後の業務形態の変化にも柔軟に対応できる統合OAシステム構築を目指して、ハードウェアなどの更改時期に合わせたOAシステムの全面刷新を決定しました。日本ユニシスグループは、グループの総合力に基づく豊富なノウハウ・実績と、利用者目線での提案が評価され、システム構築パートナーに選ばれました。新統合OAシステムは、日本ユニシスグループが提供するインターナル(設置型)・プライベートクラウドパッケージ「U-Cloud @IPCP®」によるサーバーの仮想化統合(約200台のサーバーを35台のブレードサーバーに統合)や、全店のパソコンにシンクライアント採用(レスポンスとセキュリティ向上)など新たな技術を積極的に取り込み、OA環境を全面的に再構築しました。ホームページ公開やWeb閲覧、メール送受信は、日本ユニシスが提供する「信用金庫向け共同利用型インターネット接続サービス」を利用しています。</p>

発表日		内 容
17	3月12日	<p>スズキ教育ソフト、日本ユニシス スズキ校務シリーズをクラウド版にて提供開始</p> <p>～ 使いやすさはそのまま、安心・安全なサービスを今日から利用可能に！ ～ スズキ教育ソフトと、日本ユニシスは、校務支援システム「スズキ校務シリーズ」のクラウド版、「スズキ校務クラウド」(以下「本サービス」)を、4月からサービス提供開始します。 スズキ教育ソフトは、小中学校の膨大な校務事務による教員の方々の負荷軽減と、教育の質向上に向け、全国の自治体へ校務支援システム「スズキ校務シリーズ」の導入と充実したサポートを行い、教育現場の課題解決を支援してきました。「スズキ校務シリーズ」は、発売から6年目を迎え、導入自治体数においてトップシェアを獲得し、多くの教員の方から支持されています。このたび、近年の校務の情報化動向とこれまでお客さまから寄せられた要望を踏まえ、本サービスの提供を開始するにいたりました。日本ユニシスは、サービス基盤となるクラウド環境上での校務支援システムの構築・運用を担っています。 クラウド版でのサービス提供により、初期導入費用が抑えられ、システム納期の短縮化を実現し、より手軽にシステムの使用を開始することができます。本サービスの販売は、全国の自治体へ向けて、スズキ教育ソフトにて展開し、今後4年間に、15自治体へのサービス提供を目標としています。</p>
	ソリューションサービスの強化	
18	3月20日	<p>日本ユニシス GPSと音波を利用した「位置情報連動型O2Oサービス」の実証実験</p> <p>～ ホテル日航東京 シーズナルフェア「江戸繚乱」にて実施 ～ 日本ユニシスは、ホテル日航東京にて開催されるシーズナルフェア「江戸繚乱」にて、GPSと音波を利用した位置情報連動型ソリューション「OPENSMA[®]」(商品化企画)をベースに開発したスマートフォン用アプリケーションを提供し、位置情報連動型O2Oサービスの実証実験第三弾を実施します。 GPSと音波を利用した位置情報連動型ソリューションは、音波ID発信装置から出る音波信号をスマートフォン・アプリケーションがマイクで受信してチェックインが行われ、受信した音波IDに対応する情報を配信する仕組みです。利用者は音波ID発信装置に近づくだけで、最新情報やクーポンの入手、Webサイトへのアクセスなどのサービスが利用できます。なお、日本ユニシスは、2013年10月に開催された「ITpro EXPO 2013」においても音波を利用したBtoB向けO2Oサービスの実証実験を実施しています。今後日本ユニシスは、O2Oサービスの仕組みから得られるデータの分析についても、先進的なデータ処理基盤やデータ分析手法を提供し、お客さまの戦略的なマーケティング活動に貢献できるよう、パートナー企業とともに取り組んでいきます。</p>
	共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化	
19	3月20日	<p>日本ユニシス 国連グローバル・コンパクトに参加</p> <p>日本ユニシスは、国際社会において持続可能な成長を実現するための世界的な取り組みである国連グローバル・コンパクト(以下 UNGC)に署名し、3月1日付で参加企業として登録されました。 日本ユニシスグループは、中期経営計画において、その使命を『お客様と共にICTで「人と環境にやさしい」社会を実現する』とし、2013年4月に、社会的責任のガイダンス規格ISO26000を参考に企業行動憲章を改定するなど、CSR経営を進めてきました。さらに当社グループは近年、業種業態の枠を越えたビジネス連鎖、サービス連鎖を意図することで、パートナーの範囲を拡大しています。またビジネスを行う地域は、グローバルに拡大しています。当社グループは、今回のUNGC参加を機に、より幅広いステークホルダーの信頼に応えていけるよう、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する基本10原則の実現に向けた努力を継続していきます。</p>
20	3月31日	<p>日本ユニシス、北國銀行、NTT西日本、アイ・オー・データ、RTCの5社が 地域情報&ショッピングサイト「れじおん」のサービスに向けて協業</p> <p>日本ユニシス、北國銀行、西日本電信電話、アイ・オー・データ機器およびアール・ティー・シーは共同で業務提携契約を締結し、新たな地域情報&ショッピングサイト「れじおん」のサービス提供に向けた協業に合意しました。 今回、新たに提供する地域情報&ショッピングサイト「れじおん」は、石川県内にお住まいの方を対象として、石川県内の企業が出店する地域版の販売促進情報ポータルサイト・仮想ショッピングモールです。サービス対象エリアを限定して情報発信・eコマース環境を提供することで、地域に根ざしたサービスの特徴である「Face to Faceの安心感」をインターネット上で実現します。本サービスは、パソコンやスマートフォンからご利用いただけるほか、パソコンが苦手なお客さまでも、自宅のテレビに「光BOX+」を接続することで、手軽にサービスが利用できます。本サービスへの出店は、北國銀行およびRTCが共同で提供しているインターネットビジネスマッチング支援サービス「ビズ・コム」の有料プランにご加入いただいている企業が対象となります。簡単に情報を出稿できるツールを提供するとともに、出店コストを抑えることで、手軽にサービスを利用できる環境を提供します。</p>
	社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化	

発表日		内 容
21	3月31日	<p>日本ユニシス 新潟県、大分県の「電気自動車(EV)充電インフラマップ」を提供</p> <p>ソリューションサービスの強化 共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化 社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p> <p>～ 充電インフラマップ提供地域を13の府県に拡大 ～ 日本ユニシスは、新潟県、大分県の「電気自動車(EV)・プラグイン ハイブリッド車(PHV)充電インフラマップ(以下充電インフラマップ)」の提供を開始します。 日本ユニシスは、昨年(2013年)8月より、自治体向けに「充電インフラマップ」の無償提供を開始しています。これは、自治体の「充電インフラ整備ビジョン」に基づいて整備が進められる充電スタンド情報を、日本ユニシスの充電インフラシステムサービス「smart oasis®(スマートオアシス)」を用いてEV・PHV利用者に発信するものです。「smart oasis」を利用した充電スタンド情報の発信は、すでに全国11の府県が利用していますが、このたび新潟県、大分県への提供により、13の府県に拡大します。今後も、日本ユニシスでは、「smart oasis」を用いた「充電インフラマップ」の拡充を図り、EV・PHV利用者に利便性の高い情報サービスの提供に取り組むとともに、全国の充電インフラ整備に貢献していきます。</p>
22	4月1日	<p>日本ユニシス、豊栄交通岡崎 クラウド型タクシー配車システム「smartaxi®(スマートタクシー)」の稼働を開始</p> <p>共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化</p> <p>～ デジタル無線から携帯電話回線を利用した配車システムに移行し、短時間での配車を実現。 少ないコストで、タクシー利用者の利便性向上へ ～ 日本ユニシスと、豊栄交通岡崎は、タクシー配車の仕組みをタブレットとクラウドで実現させた、クラウド型タクシー配車システム「smartaxi(スマートタクシー)」を、本日から稼働開始しました。 「smartaxi」は、汎用的で拡張性の高いタブレットとクラウドを利用して、タクシー配車の仕組みを実現するシステムです。タクシー利用者から一番近い車両を自動的に検索し、短時間(最短3秒)で配車を行います。タクシー利用者は、電話で配車を待つ時間や、タクシーが到着するまでの時間が短くなり、利便性が向上します。一方タクシー事業者は、従来のタクシー専用無線のように独自の基地局を持つことなく、タブレットと配車センター用のパソコンを用意するだけで、効率的な配車を行うことが可能になり、少ない初期投資と短い導入期間でのサービス利用を実現します。また利用料もタクシー台数による月額課金制のため、スモールスタートを希望するタクシー事業者や、タクシー所有台数が少ない事業者も安心して利用することができます。日本ユニシスは、2011年8月にsmartaxiを提供開始し、お客さまの要望に応じて新機能を追加してきました。昨年にはタクシー利用者向けのスマートフォンアプリも公開し、配車リクエストからタクシー車両への配車指示までの完全自動配車を実現しています。今後もタブレットとクラウドの特徴である汎用性と拡張性を活かした新サービスを追加していきます。smartaxiは、お客さまの声を取り入れながら、お客さまとタクシー利用者の利便性をさらに向上させるために進化を続けていきます。</p>
23	4月10日	<p>日本ユニシス 佐賀県武雄市「武雄市地域安心・安全情報提供業務事業」をコンソーシアムで受託</p> <p>社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p> <p>日本ユニシスは、佐賀県武雄市の「武雄市地域経営型包括支援クラウドモデル実証事業企画」(「武雄市地域安心・安全情報提供業務事業」)をSIIS、デイ・ソフトウェアとのコンソーシアムで受託し、2014年3月まで実証実験を実施しました。 コンソーシアムでは、「災害発生時だけでなく、平常時から住民に慣れ親しんで利用されるシステム」を提案し、本実証事業を受託しました。この事業で構築するシステムは、日本ユニシスの危機管理情報共有クラウドサービス「SAVEaid®」と連携し、次のような住民の安心・安全を提供しています。 ・平常時から住民の安心・安全に関する情報を、地域全体で共有できる ・地域住民が、通学路や家の周囲の危険情報を市役所の関連部署に問い合わせることなく入手が可能となる ・災害時は、職員の安否確認から施設の被害状況などを一元的に把握することで、抜け漏れや重複の無い災害対応を迅速かつ確実に実施し、かつ、住民へ情報を提供する ・一つの統合したポータルサイトで情報の共有・報告により地域全体での安心・安全の向上のための施策の検討や維持向上が容易になる 日本ユニシスは、2013年12月、内閣官房から「オープンデータの推進のためのデータカタログの在り方に関する調査」も受託しています。今後もこれまでの経験、見識を活用し、中央省庁や自治体の実証事業において、公共データやオープンデータの利活用に関する活動を推進していきます。</p>

U&U

Users & Unisys

UNISYS

- ※U-Cloud、U-Cloud @PCP、BankVision、Next U's Vision、Lease Vision、CoreCenter、smartaxi/スマートタクシー、Maris、MIDMOST、AtlasBase、smart oasis、Visitor Charge、UNIBEMS/ユニベムス、無事故プログラムDR、サイカメラZERO、BITS、Dynavista、UNIVERSALCRM、UCCAP、Technology Foresights、TopicStation、TopicExplorer、MartSolution、MiningPro21、LearningCast/ラーニングキャスト、TRADEBASE、U&Uは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。
- ※サイカメラZEROは、日本ユニシス株式会社が提供するサービスの名称です。
- ※CADmeisterは、日本ユニシス・エクセリユーションズ株式会社の登録商標です。
- ※IP&A/アイピーアンドエーは、ユニアデックス株式会社の登録商標です。
- ※Androidはグーグル インコーポレイテッドの登録商標です。
- ※Microsoft、Windows、KINECT、SQL Server、Office 365、Exchange、SharePoint、Lyncは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- ※れじおんは、株式会社C-GRIPの登録商標です。
- ※ビス・コムは、株式会社アール・ティ・シーおよび株式会社北国銀行の登録商標です。
- ※MotionBoardは、ウイングアーク株式会社の商標または登録商標です。
- ※IBM PureDataは、International Business Machines Corporationの米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- ※Verticalは、ヒューレット・パッカド デベロップメント カンパニー エル・ピー、の登録商標です。
- ※Teradataは、米国テラデータ・コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ※ZL Technologies、Unified Archiveは、米国ZL Technologies, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ※その他記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。